

令和5年9月14日

報道機関各位

長岡市立中央図書館長



初公開！～大倉喜八郎の支援を受けて海外へ渡航～ 旧藩士の父親を説得する三島億二郎の手紙

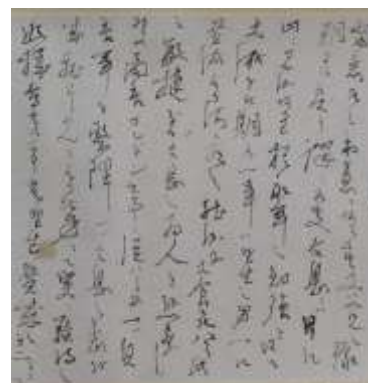
市の歴史に関する文書の保存や調査・研究の相談などを行う「れきしぶんしょかん歴史文書館」では、新収蔵の三島億二郎（長岡藩大参事、古志郡長）の手紙を初公開しています。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、周知にご協力いただきますとともに、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

常設展「三島億二郎の手紙」

- 1 会 期 9月27日（水）まで
- 2 会 場 長岡市歴史文書館（長岡市長倉西町 458 番地 7<旧サンライフ長岡>）
- 3 内 容
 - 手紙は、明治 18(1885)年に旧長岡藩士で古志郡役所（現ミライエ長岡の場所）に勤務する高橋晋平に宛てたものです。億二郎は、晋平の息子・邦三から、「ロンドン行」の許可を父親から得るための口添えを依頼され、この手紙を書きました。

○億二郎は、邦三の「ロンドン行」に賛成する理由の一つとして、大倉喜八郎の援助を受けられることを挙げています。大倉は、新発田城下に生まれ、江戸へ出て実業家として成功。その後、明治 6 (1873)年に東京銀座で大倉商会を設立するなど、貿易、鉄道、ホテルなど様々な企業の設立に関わり、海外にも事業を拡大して、「大倉財閥」を築き上げました。



4 その他

8月28日に報道発表したとおり、会期中の9月15日（金）には、三島億二郎研究の第一人者である古田島吉輝氏（長岡戦災資料館顧問）を講師に「長岡市史双書を読む会」の第2回講座を開催します（約50人参加予定）。

問い合わせ：歴史文書館 田中
TEL 0258-36-7832